

⇒別冊 p.4 ~ 5

解答と解説

解答

(1) ④ (2) ② (3) ③

解説

(1) 第1段落第2文の、空所の前が「人々が…することができた scenes (場面)」, 後ろが「果物の入った鉢, 人間の姿, 自然の光景など」という scenes の具体例になっている。文構造から考えて that people could ... は前の scenes を修飾しているの、1 や 2 では意味が通じないことがわかる。また、次の But で始まる文との意味的な関係と、本文のタイトルにある abstract art (抽象芸術) から考えて、3 よりも 4 の方が適切である。

選択肢の和訳

- × 1 家で (~に) 気晴らしをさせる
- × 2 市場で買う
- × 3 ~について友人たちに話す
- 4 簡単に識別する

(2) 第1段落第5文の、空所の前 an impression of reality (現実の印象) と後ろの realistic depictions of it [reality] (現実のリアルな描写) とは、文脈から考えて対比的な内容だと判断できる。したがって、2 が正解。

選択肢の和訳

- × 1 ~よりもよりはるかによい
- 2 ~よりむしろ
- × 3 ~に加えて
- × 4 ~を展示して

(3) 空所を含む文の前の文 (第3段落第4文) において、ワシリー・カンディンスキーが音楽から創造的の刺激を受けたことが述べられている。それに続いて、「カンディンスキーは作品を造るために色と形を駆使した、…に似た感覚を生み出すことを目指したものだ」とあるため、その流れから、似ている対象となるものは 3 の listening to music (音楽を聴くこと) だと考えることができる。

選択肢の和訳

- × 1 彼のすばらしいスピーチ
- × 2 他の有名な画家
- 3 音楽を聴くこと
- × 4 すばやい動き

語句

〈タイトル〉

- rise (名) 興隆, 繁栄, 台頭
- abstract (形) 抽象的な

〈第1段落〉

- realistically (副) 写実的に
- represent (動) ~を表す, 描写する
- scene (名) 場面, 光景
- bowl (名) 鉢, 椀
- figure (名) 姿
- Impressionism (名) 印象派 [主義]
- object (名) 対象, 物体
- capture (動) ~を捕らえる
- visual effect 視覚効果
- reflect off ~ ~に反射する
- depiction (名) 描写

〈第2段落〉

- exist (動) 存在する
- explore (動) ~を探求する
- Cubism (名) キュービズム, 立体派
- break ~ apart ~を解体する
- canvas (名) キャンバス, 画布
- simultaneously (副) 同時に
- Futurist (形) 未来派の (人)
- dynamism (名) 活力, ダイナミズム
- leash (名) (犬などをつなぐ) 鎖, 革ひも
- blur (名) ぼんやりと見えるもの

〈第3段落〉

- abandon (動) ~を捨てる, ~をやめる
- altogether (副) 完全に
- Expressionist (名) 表現派 (の芸術家)
- inspiration (名) ひらめき, 創造的の刺激
- blend (動) ~を混合する
- note (名) 音符, 音
- composition (名) 作品, 絵画
- sensation (名) 感覚
- (be) similar to ~ ~に似ている



第1段落 印象派の芸術家の絵は、現実をリアルに描写するというよりも、現実の印象を描いたものだった。

① (Until the 1870s), most professional artists were producing paintings (realistically) represented the world. 注1

(1870年代まで), たいていのプロの芸術家は(世界的に)描写した絵を生み出していた。

② Their paintings showed scenes (that people could (easily) recognize, (like bowls (of fruit), human figures, or scenes (from nature))).

彼らの絵には(果物の入った)鉢, 人間の姿, (自然の)光景などのように人々が(簡単に)識別することができた場面が描かれていた。

③ But (in 1874), a painting style (known as Impressionism) introduced a new way (for artists) to represent the world. 注2

しかし(1874年に), (印象主義という名で知られる)画法が(芸術家にとって)世界を描写する新しい方法を導入した。

④ (Instead of (painting objects (exactly) (how they appeared))), Impressionists (like Claude Monet and Pierre August-Renoir) tried to capture the visual effect (of a moment), (like the way (light reflects off (of water))). 注3

([対象物を(それが見えるように)(正確に)描く]代わりに), (クロード・モネやピエール・オーギュスト・ルノワールのような)印象派の芸術家たちは(光が反射する)水の状態のような(一瞬の)視覚効果を捕らえようとした。

⑤ These artists' paintings were an impression (of reality), (rather than realistic depictions (of it)).

これらの芸術家の絵は(現実の)リアルな描写というよりも, (現実の)印象(を描いたもの)だった。

第2段落 現実をありのままに描く必要がないことに気づくと多くの芸術家は他の可能性を探し始めた。

① (Once artists realized (they didn't have to paint reality (as it existed))), many began exploring other possibilities. 注4

([現実を(ありのままに)描く必要がないこと]にいったん気づくと), 多くの芸術家たちは他の可能性を探し始めた。

② Painters Pablo Picasso and Georges Braque invented Cubism, (where objects were studied, broken apart (in the artist's mind), and represented (on the canvas) (from many angles simultaneously)). 注5

画家のパブロ・ピカソとジョルジュ・ブラックはキュビズムを考案した, (キュビズムでは物体は厳密に調べられ, (芸術家の心の中で)解体されて, (多くの角度から同時に見たように)(キャンバスに)描かれた)。

③ Painters Umberto Boccioni and Giacomo Balla were part (of the Futurist movement), (which tried to capture the speed and energy (of the early 20th century)). 注6

画家のウンベルト・ボッチョーニとジャコモ・バッラは(20世紀初期の)スピードと活力を捕らえようとした(未来派の運動の)一員となった。

④ Balla's "Dynamism of a Dog on a Leash" shows a dog (whose legs are (merely) a blur (of movement)).

バッラの「鎖に繋がれた犬のダイナミズム」は(足を(ただ)動きの)ぼんやり見えるものとして犬を描いている。

第3段落 多くの芸術家は現実の対象から離れ, 色や抽象的な形を使い感情や気分を表現することにした。

① Many artists abandoned realistic objects (altogether), (deciding (instead) to use color and abstract shapes (to express certain feelings or moods)). 注7

多くの芸術家は現実の対象から(完全に)離れ, (代わりに)色や抽象的な形を使って(ある種の感情や気分を表現すること)にした。

② These artists became known (as Expressionists).

これらの芸術家は (表現派という名で) 知られるようになった。

③ One <of the original abstract expressionists> was Wassily Kandinsky.

<抽象的表現派の創始者の>1人がワシリー・カンディンスキーだった。

④ He took inspiration from music, another abstract form <of art>, <which blends notes and rhythms (to speak to the audience)>.

彼は(絵画とは)別の抽象的<芸術>形態である、<音符とリズムをミックスして(聴衆に語りかける)>音楽から創造的刺激を受けた。

⑤ Kandinsky used colors and shapes (to form his compositions), ones <that he hoped would create a sensation (for his audience) <similar to listening to music>>.

カンディンスキーは(作品を造るために)色と形を駆使した、その色と形は<(鑑賞者に対して)<音楽を聴くのに似た>感覚を生み出すことを目指したものだだった>。

注1 that は関係代名詞の主格で、直前の名詞を説明している。次の文の that も同様。

注2 不定詞 (to V) の直前で意味上の主語を表す場合には、for という前置詞を用いる。

注3 この文での how は接続詞のような働きをし、how S V で「S が V するように」という意味で使われている。

注4 once は接続詞。once S V で「いったん S が V すれば」という意味で用いられている。

注5 where は関係副詞で、Cubism を説明する節を続けている。

注6 which は関係代名詞で、the Futurist movement を説明する節を続けている。

注7 deciding で始まる現在分詞句は分詞構文で、「そして…する」のような意味で副詞の働きをする句になっている。

注8 ones は、colors and shapes という名詞の反復を避けて用いられている代名詞。関係代名詞 that 以下の部分がこれを説明している。he hoped の部分は、主格の関係代名詞 that と would create という動詞の間に、挿入されるような形となっている。

Column 英文法をほどほどに勉強しよう！

英文を読むために、やはり英文法の知識は必要です。しかし、何事もほどほどにやるのが大切で、読んで十分に意味がわかるものを必要以上に分析し、止まってしまうのはよくありません。本書では「構造確認」のページを設け、すべての英文が文法的にどのような構造なのかを確認できるようにしてありますが、これはあくまでも悩んだときの確認用のページに過ぎず、皆さんが自分でこのような記号をつけることができなければならぬということではありません。英文の意味を取り違えてしまう原因はいろいろありますが、その1つが英文の構造を間違ってとらえてしまうということです。訳と照らし合わせて、意味を取り違えていた場合は、主語や述語を勘違いしていないかどうか、「構造確認」のページで確認してみましょう。また、読解ができるようになるための前段階として、主語や述語動詞、目的語や補語について、そして英語の大きな特徴である名詞の後置修飾について、機会を見つけてしっかりと勉強することをおすすめします。ただし、必要以上に文法にのめり込むと速読の妨げになることもあるので、必要なものだけをほどほどに学ぶ気持ちで、文法や構文とつきあっていきましょう。



サイトトランスレーション

1 Until the 1870s, /	1870年代まで、
most professional artists /	たいていのプロの芸術家は
were producing paintings /	絵を生み出していた
that realistically represented /	写実的に描写した
the world. //	世界を。
Their paintings showed /	彼らの絵には描かれていた
scenes /	場面が
that people could easily recognize, /	人々が簡単に識別できた、
like bowls of fruit, /	果物の入った鉢のように、
human figures, /	人間の姿、
or scenes from nature. //	自然の光景。
But in 1874, /	しかし 1874年に、
a painting style /	画法が
known as Impressionism /	印象主義という名で知られる
introduced a new way /	新しい方法を導入した
for artists /	芸術家にとって (の)
to represent the world. //	世界を描写する。
Instead of painting objects /	対象物を描く代わりに
exactly how they appeared, /	それらが見えるように正確に、
Impressionists /	印象派の芸術家たちは
like Claude Monet and Pierre August-Renoir /	クロード・モネやピエール・オーギュスト・ルノワールのような

tried to capture /	捕らえようとした
the visual effect of a moment, /	一瞬の視覚効果を、
like the way light reflects /	光が反射する状態のような
off of water. //	水から。
These artists' paintings /	これらの芸術家の絵は
were an impression of reality, /	現実の印象 (を描いたもの) だった、
rather than realistic depictions of it. //	現実のリアルな描写というよりも。
2 Once artists realized /	芸術家たちはいったん気づくと
they didn't have to paint reality /	彼らが現実を描く必要がないことに
as it existed, /	ありのままに、
many began exploring /	多くの芸術家たちは探し始めた
other possibilities. //	他の可能性を。
Painters Pablo Picasso and Georges Braque invented /	画家のパブロ・ピカソとジョルジュ・ブラックは考案した
Cubism, /	キュビズムを、
where objects were studied, /	そこでは物体は厳密に調べられた、
broken apart /	解体されて
in the artist's mind, /	芸術家の心の中で、
and represented on the canvas /	そしてキャンバスに描かれた
from many angles /	多くの角度から (見たように)
simultaneously. //	同時に。
Painters Umberto Boccioni and Giacomo Balla /	画家のウンベルト・ボッチョーニとジャコモ・バッラは
were part of the Futurist movement, /	未来派の運動に加わった、
which tried to capture /	捕らえようとした

the speed and energy /	スピードと活力を
of the early 20th century. //	20 世紀初期の。
Balla's "Dynamism of a Dog on a Leash" /	バッラの「鎖に繋がれた犬のダイナミズム」は
shows a dog /	犬を描いている
whose legs are merely a blur of movement. //	その足を単にぼやけた動作として。
3 Many artists abandoned /	多くの芸術家は離れた
realistic objects /	現実の対象から
altogether, /	完全に,
deciding instead to use /	代わりに使うことにした
color and abstract shapes /	色や抽象的な形を
to express certain feelings or moods. //	ある種の感情や気分を表現するのに。
These artists became known /	これらの芸術家は知られるようになった
as Expressionists. //	表現派という名で。
One of the original abstract expressionists /	抽象的表現派の創始者の 1 人は
was Wassily Kandinsky. //	ワシリー・カンディンスキーだった。
He took inspiration /	彼は創造的の刺激を受けた
from music, /	音楽から,
another abstract form of art, /	(絵画とは) 別の抽象的芸術形態である,
which blends notes and rhythms /	音符とリズムをミックスして
to speak to the audience. //	聴衆に語りかける。
Kandinsky used /	カンディンスキーは駆使した
colors and shapes /	色と形を
to form his compositions, /	作品を造るのに,
ones that he hoped /	彼が目指したものの [色と形] だった

would create a sensation /	感覚を生み出す
for his audience /	鑑賞者に
similar to listening to music. //	音楽を聴くのに似た。

Column 棒読み音読は NG !

読解力を身につけるのに、たいへん効果がある勉強法の一つが「音読」です。かつては、音読というと、音声モデルなしで英語を自己流に読むことを意味していました。しかし今では、教材には、本書のように英文のナレーション音声がついています。この音声を活用しながら音読することが非常に重要です。また、音読する際には、その目的を強く意識することが重要です。音読すること自体を目的にしてはなりません。音読の目的は、①左から右に英語の語順のまま英語を理解できるようになること、②できるだけ日本語を介さず英語のまま意味がわかるようになることです。この2つの力は、リスニングでも非常に重要です。端的に言うと、音読の目的は「英文の意味がダイレクトにわかるようになること」です。したがって、回数や時間のノルマを決めて、むやみに音読するだけでは効果は限定的でしょう。時には回数目標を決めるのもやる気になりますが、あくまでも英文を理解することが目標なのだということをつねに心に留めておきましょう。音読は、ただ棒読みするだけではダメなのです。

The Rise of Abstract Art

Until the 1870s, most professional artists were producing paintings that realistically represented the world. Their paintings showed scenes that people could easily recognize, like bowls of fruit, human figures, or scenes from nature. But in 1874, a painting style known as Impressionism introduced a new way for artists to represent the world. Instead of painting objects exactly how they appeared, Impressionists like Claude Monet and Pierre August-Renoir tried to capture the visual effect of a moment, like the way light reflects off of water. These artists' paintings were an impression of reality, rather than realistic depictions of it.

Once artists realized they didn't have to paint reality as it existed, many began exploring other possibilities. Painters Pablo Picasso and Georges Braque invented Cubism, where objects were studied, broken apart in the artist's mind, and represented on the canvas from many angles simultaneously. Painters Umberto Boccioni and Giacomo Balla were part of the Futurist movement, which tried to capture the speed and energy of the early 20th century. Balla's "Dynamism of a Dog on a Leash" shows a dog whose legs are merely a blur of movement.

Many artists abandoned realistic objects altogether, deciding instead to use color and abstract shapes to express certain feelings or moods. These artists became known as Expressionists. One of the original abstract expressionists was Wassily Kandinsky. He took inspiration from music, another abstract form of art, which blends notes and rhythms to speak to the audience. Kandinsky used colors and shapes to form his compositions, ones that he hoped would create a sensation for his audience similar to listening to music.

抽象芸術の台頭

1870年代まで、たいていのプロの芸術家は世界を写實的に描写した絵を生み出していた。彼らの絵には、果物の入った鉢、人間の姿、自然の光景など、人々が簡単に識別できる場面が描かれていた。しかし1874年に、印象主義という名で知られる画法が芸術家にとって世界を描写する新しい方法を導入した。対象物を見えるとおりに描く代わりに、クロード・モネやピエール・オーギュスト・ルノワールらの印象派の芸術家たちは、光が反射する水の状態のような一瞬の視覚効果を捕らえようとした。これらの芸術家の絵は、現実をリアルに描写するというよりも現実の印象を描いたものだった。

現実をありのままに描く必要がないことにひとたび気づくと、多くの芸術家たちは他の可能性を探し始めた。画家のパブロ・ピカソとジョルジュ・ブラックはキュビズムを考案した。キュビズムでは物体は厳密に調べられ、芸術家の心の中で解体されて、多くの角度から同時に見たようにキャンバスに描かれた。画家のウンベルト・ボッチョーニとジャコモ・バッラは、20世紀初期のスピードと活力を捕らえようとする未来派の運動に加わった。バッラの「鎖に繋がれた犬のダイナミズム」は、足を単にぼやけた動作として描いている。

多くの芸術家は現実の対象から完全に離れ、代わりに色や抽象的な形を使ってある種の感情や気分を表現することにした。これらの芸術家は表現派という名で知られるようになった。抽象的表現派の創始者の1人は、ワシリー・カンディンスキーだった。彼が創造的の刺激を受けたのは、音符とリズムをミックスして聴衆に語りかける（絵画とは）別の抽象的芸術形態である音楽だった。カンディンスキーは作品を造るために色と形を駆使した、その色と形は鑑賞者に対して音楽を聴くの似た感覚を生み出すことを目指したものだった。